

けたその時から患者は日常生活の不自由を受け入れていかなければならない。従って、整形外科領域の患者の看護は、障害による患者の「生活の不自由」に対する援助が中心となる。これまで「整形外科看護」というと、多様な疾患や治療についての知識の部分が大半を占め、看護に関しては特殊な治療に対する診療の援助であり、最も重要な日常生活援助についてはほとんど書かれていなかった。

多様な疾患や治療の特性を理解することが重要であることはいうまでもないが、看護は患者を「生活する人」として捉えていかなければならない。本書では、この考えをもとに、運動機能を障害された人の生活に焦点を当てることを念頭におい

た。

内容としては、急性期から回復期にある対象の特性や治療の特殊性を理解するための基本と、整形外科の治療を受ける患者にとって、何が必要で、どのような視点で援助していけばよいかを示したつもりである。特に、生活スタイルの変更や再構築を必要とする患者にとっては、入院中から日常生活の自立を目標とする看護が不可欠であることを重視して、できるだけ具体的に援助方法を示した。看護を実践する方々が、患者一人一人の生活を大切に、よりよく生きる手助けをして下さる、その一助となれば幸いである。

(やの・いくこ 医療技術短期大学部助教授)



〔全国〕

第46回国立大学図書館協議会総会

6月23日(水)～24日(木) 仙台国際センターにおいて、東北大学の当番で開催されました。

〔報告事項〕 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会報告 国立大学図書館協議会海外派遣者選考委員会報告 図書館電子化システム特別委員会報告 国際情報アクセス特別委員会報告 著作権特別委員会報告 情報資源共用・保存特別委員会報告 図書館組織・機構特別委員会報告 国立大学図書館協議会と学術情報センターとの業務連絡会報告 国公立大学図書館協力委員会報告 日本図書館協会関連報告、ほか

〔審議事項〕 理事選出について 監事選出について 平成10年度決算報告・同監査報告について 平成10年度岸本英夫博士記念基金収支決算報告・同監査報告について 国立民族学博物館・国際日本文化研究センターの加入について 平成11年度事業計画(案)について 平成11年度予算(案)について 日米両国のドキュメント・デリバリーの試行実験について 文部大臣等に対する要望書について、ほか

〔学内〕

第219回附属図書館運営委員会(5月開催)

〔審議事項〕 平成11年度図書購入計画について、ほか

〔報告事項〕 蔵書構成専門委員会(第53回)について 附属図書館ボランティア委員会(第12回)及びボランティアとの懇談会(第9回)について 平成10年度附属図書館業務統計について 第55回関東地区国立大学図書館協議会総会について 安全管理状況の自己調査結果について、ほか

第220回附属図書館運営委員会(6月開催)

〔審議事項〕 平成10年度版筑波大学年次報告書について 附属図書館利用細則の見直しについて 貴重図書の指定について、ほか

〔報告事項〕 教育図書委員会(第28回)について 学生用雑誌の見直しについて 附属図書館ボランティア記念式・講演会について 平成11年度国立大学附属図書館事務部課長会議について、ほか